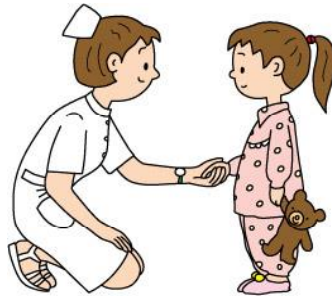


皆さんが「進路決定」していくとき、
「なぜ、その学校を選んだのですか？」
 という志望理由を聞かれます。

次のような志望理由を皆さんはどう思いますか？

「幼い頃、病院で看護師さんに優しくしてもらったから、その看護師さんのように、子どもに寄り添い、助けてあげられる立派な看護師になりたいです」



皆さんだったら、この志望理由にどんな質問をしますか？

- ・「ほかにも子どもに寄り添い、助ける職業があるのに、なぜ、看護師なんですか？」
- ・「あなたが助きたい子どもはどんな子どもですか？」
- ・「看護師さんの寄り添い方、助け方って、具体的にどんな行動だったんですか？」

早くになりたいものや進路を決めている人の中には、自分が大切にしている価値観の深掘りをしていなかったり、いろんなアプローチがあることを考えずに、「〇〇になりたい」と決め切ってしまうたりしている人も少なくないと思います。進路が決まらず「う～ん、どうしよう？ 自分は何がしたいんだろう？」と悩んでいる人の方が、たくさん「問い」を立てて、学んでいるかもしれません。

例えば……

- ・自分が一番充実していると感じる時はどんな時だろう？
- ・それはなぜだろう？
- ・どういう要素があれば、自分は充実していると感じるのだろう？
- ・自分はなぜ、●●に関心があるんだろう？
- ・●●と自分は、どういうふうに向き合って生きていけばいいんだろう？ とか……



しかし、「あまり自分は★★に充実感を得られなかった」という経験も無駄ではありません。「なぜ、充実していると感じなかったのか？ どういう要素が欠けていると自分は充実していないと感じるんだろう？」と考えると、自分の大切にしている価値観が浮き彫りになってくるかもしれません。

なので、探究の時と同じく、自分にたくさん「問い」をぶつけてください。

「☆☆になること」は目的ではなく、手段なので代替可能です。

「〇〇になれば、自分らしく生きていけない」なんてことはないですよ。小さい頃から、「将来何になりたいの？」の攻撃を浴びてきたのではないですか？ 「〇〇になること」を目的にしてしまうのも致し方ないかもしれません。先ほどの看護師を志望している人も、看護師になることが目的ではなく、「子どもに寄り添い、助けてい」というのが目的なのでしょう。であれば、目的である「子どもに寄り添い、助けてい」という自分の価値観を深掘りしていくことが、まずは大事です。

深掘りの方法

- ・子どもって、具体的にどんな子ども？
- ・子どもに寄り添うって、どういうこと？
- ・子どもを助けるって、どういうこと？

どうしたら「寄り添えた・助けてあげた」と感じ、自分が充実していると思えるのか。

- ・そのために、自分は何をしてきたの？
- ・子どもたちにどうやって寄り添って、助けてきたの？
- ・今の自分の課題は？
- ・目的を実現していくために自分が学んでいきたいことは？

このように自らに問い、自分を深掘りしていくと、自分らしい志望理由になるのではないのでしょうか？（自己申告書も考え方は同じ）



まさに「自己探究」。

自分はどのように生きてきたのか？
 これから何をするのか？
 どのように生きていきたいのか？



あなたの「目標」を決めましょう。
 無理せず、出来そうなことから、具体的に考えましょう。
 一つひとつ「達成」し、出来る自分に自信を持ちましょう。

成功までのイメージ図

